

施策評価シート

評価年度	平成28年度	事業実施年度	平成27年度	施策主管次長名	都市建設部次長 岡本隆広	
施策番号	61	施策名	誰もが安心して出かけられるまち		総合計画掲載頁	86
関係課名	道路河川課、長寿介護課、企画政策課					

1. 施策の概要

施策の目的	対象	・市民 ・幹線道路	対象指標名	単位	H26実績	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
			① 人口	人	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401	61,744
			② 都市計画道路延長	Km	66.9	66.9	66.9	66.9	66.9	66.9
			③							
意図	誰もが安心して出かけられるまちにする				成果指標名					
					①	さんさんバスの利用者数				
					②	都市計画道路整備率(整備済延長/計画延長)				
					③	歩道付道路の整備率(整備済延長/計画延長)				
④										

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H26実績	H27計画	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
	さんさんバスの利用者数	人/年	268,017	256,000	287,312	288,800	289,000	290,000	291,000
①	指標設定の考え方と把握方法	利用者の推移により公共交通の利便性を計るため利用者数を指標とした。事業者からの報告により把握							
指標	成果指標名	単位	H26実績	H27計画	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
	都市計画道路整備率(整備済延長/計画延長)	%	77.9	79.2	78.1	78.6	80.2	82.0	83.0
②	指標設定の考え方と把握方法	幹線道路が整備されることにより通勤や輸送など移動が円滑にできるようになったことから、その整備率を指標とした。整備率は担当課より把握							
指標	成果指標名	単位	H26実績	H27計画	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
	歩道付道路の整備率(整備済延長/計画延長)	%	89.4	89.4	89.4	89.9	90.3	91.0	92.0
③	指標設定の考え方と把握方法	歩行者等の安全の確保には、歩道が果たす役割が大きいため歩道整備率を指標として設定した。整備率は担当課より把握							
指標	成果指標名	単位	H26実績	H27計画	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
④	指標設定の考え方と把握方法								

3. 施策の評価

項目	評価のコメント				
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	・自動車依存から公共交通などへのシフトにより、地球環境にやさしいライフスタイルへ転換する。 ・計画道路の公共的な必要性を理解し、事業への協力を。身近な生活道路の清掃、草刈りを行い、道路の不具合等すみやかな連絡等に協力する。			
	行政	・公共交通網の整備・充実を行い、地球環境にやさしいライフスタイルへの転換を支援する。 ・幹線道路や歩道の整備を計画的に推進し、生活道路も含め適正な維持管理に努める。			
達成度評価	近隣との比較	・他市町のコミュニティバスとは、公共交通機関の事情が異なるため単純比較はできない。 ・都市計画道路の整備率は県平均よりやや上位の値である。			
	過去3年間の実績との比較	・さんさんバス利用者は25年度以降、徐々に増加傾向を示し27年度は前年度より19,000人強ほど増加した。 ・都市計画道路の整備率は、豊田知立バイパス線の歩道整備などにより前年度より0.2%上昇している。 ・歩道付道路の整備率は、平成27年度整備完了の実績がなく横ばい状態にある。			
現状と課題	◆さんさんバス利用者の増加により地域公共交通ネットワークの形成がまとまりつつあるが、本年7月に開館するサンライブへの来館者が利用しやすいバスとすることが求められる。 ◆都市計画道路整備は、豊田知立バイパス線の整備が全線暫定供用開始したが、市内各所で未整備路線が残っている。これは用地取得と事業の困難性に起因する。				
今後の取り組みの方向性および次年度の取組	◆今年度、三好丘駅周辺を活力ある駅前拠点として維持形成するための基本構想を策定し、今後さらに、さんさんバス利用者などの利便向上に努める。 ◆都市計画道路整備は、未整備の都市幹線道路の整備促進を愛知県に呼びかけるとともに、土地区画整理事業関連の街路事業整備等を推進し、中心市街地の活性化を図る。 ◆歩道設置については、地域からの要請に沿いながら計画的な整備を行う。 ◆人にやさしく安全な道路環境整備をめざし、道路のバリアフリー化やユニバーサルデザインに配慮した整備を進める。				
	(29年度の取り組み) ・サンライブ利用者の交通手段等について、アンケート調査や分析を行い、さんさんバスに対する市民ニーズの把握を行う。 ・三好中部特定土地区画整理事業の進捗に併せ新市街地を形成する街路事業を推進する。				
市民意識	重要度	高い	満足度	低い	平成27年度市民アンケート調査による